

2016年8月10日



株式会社アコーディア・ゴルフ

証券コード: 2131

2017年3月期 第1四半期決算 補足資料

本資料に関する注意事項

- 本資料は、株式会社アコーディア・ゴルフおよび当企業グループに関する情報提供を目的としたものであり、投資その他の取引の勧誘または斡旋を目的としたものではありません。
- 本資料に記載されております戦略・計画・方針・予想等の将来に関する記述は、本資料の作成時点において当社が入手している情報に基づく一定の前提（仮定）および将来の予測等を基礎として当社が判断したものであり、これらには様々なリスクおよび不確実性が内在しております。そのため、当社の支配権の変動その他の要因により、実際の結果等は本資料に記載された内容から大きく乖離しうることをご承知おきください。また、当社は、本資料の日付以降において、本資料に記載された内容を随時更新する義務を負うものではなく、かかる方針も有していません。
- 本資料に記載された内容については合理的な注意を払うよう努めておりますが、掲載された情報の内容の正確性、適切性、網羅性等について、当社は何ら保証するものではありません。
- 本資料に記載されている当社および当企業グループ以外の企業・団体等に係る情報は、公開情報等を用いて作成ないし記載したものであり、かかる情報の正確性、適切性、網羅性等について当社は独自の検証も行っており、また、これを何ら保証するものではありません。
- 本資料の掲載数値は、一部を除き連結数値であり、また単位未満は切り捨て算出しているため、各欄の合計値と合致しない場合があります。

本資料に関するお問い合わせは、下記までお願い致します。

株式会社アコーディア・ゴルフ

IR部

〒107-0062 東京都港区南青山3-3-3 リビエラ南青山ビルA館

TEL: 03-6688-1500（音声ガイダンス）

mail: ir@accordiagolf.com

IRサイト: www.accordiagolf.co.jp

1. 2017年3月期 第1四半期実績

2017年3月期 第1四半期決算総括

1. 第1四半期決算について＜前期比ベース（ ）内は計画比＞

- ゴルフ場の予約状況は好調に推移している。当社ゴルフ場の立地の良さや快適なセルフプレーの提供など独自の収益基盤の強さにより好調に推移するが、平成28年熊本地震や西日本の長雨が響き、運営ゴルフ場の入場者数は、224万名と前年同期比8万名減少。なお、九州における保有ゴルフ場は1コースのみであり、地震に伴う当社業績に対する影響は軽微。
- **営業収益**
保有ゴルフ場を比較すれば、前期に生じたゴルフ場2コースの売却に伴い、コース売上が弱含む。さらに運営受託収入は計画線で推移したが会員収益が減収となり、連結全体では279百万円減収し、13,039百万円。（計画比、161百万円減）
- **営業利益**
人件費が増加、その他経費は減少したため対売上費用比率は前年同期水準。営業収益が減収となったため、177百万円減益し、2,426百万円。営業利益率18.6%。（計画比、1.1%増益）
- **経常利益**
営業外収益は、持分法による投資利益に対する留保利益の計上が変更となり減少、計画比では想定線。
- **親会社株主に帰属する四半期純利益**
前年同期に計上した太陽光発電事業の権利譲渡に伴う権利譲渡益350百万円が生じなかったものの、特別損失の減少や税効果に伴い、33百万円の増益となり、1,674百万円。（計画比、19.6%増益）
- **貸借対照表**
純資産は、49,162百万円、株主資本比率は32.1%は前期末水準。

2. 第2四半期・通期業績計画について

- 8月や9月におけるゴルフ場予約状況を勘案し、第2四半期・通期業績計画に対して概ね計画線で進捗していると判断。節約志向など景況感に、やや変調が見られるが、当社は現時点において予約など目立った下押しの兆しは認識していない。

2017年3月期第1四半期 決算概要



(百万円)

	2016年3月期 1Q	2017年3月期 1Q				
		(実績)	(計画)	(前年同期比)	(計画比)	(通期進捗率)
営業収益	13,318	13,039	13,200	- 2.1%	- 1.2%	26.8%
償却前営業利益(EBITDA)	3,635	3,489	3,500	- 4.0%	- 0.3%	30.1%
営業利益	2,603	2,426	2,400	- 6.8%	+ 1.1%	33.2%
経常利益	2,801	2,382	2,600	- 15.0%	- 8.4%	32.6%
特別利益	383	98	-	- 74.4%	-	-
特別損失	52	3	-	- 94.2%	-	-
税前三半期純利益	3,133	2,477	-	- 20.9%	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,641	1,674	1,400	+ 2.0%	+ 19.6%	37.2%
EBITDAマージン	27.3%	26.8%	26.5%	- 0.5pt	+ 0.3Pt	-
運営ゴルフ場(うち契約)	138(94)	136(93)	-	-	-	-
運営ゴルフ練習場(うち契約)	25(5)	26(5)	-	-	-	-
運営ゴルフ場入場者数	232万人	224万人	231万人	- 8万人	- 7万人	-

直近の営業状況

1. 第1四半期(2016年4月-6月)の営業状況

4月 : 運営ゴルフ場においては平成28年熊本地震の影響が生じたが、保有ゴルフ場の収益は前年水準で推移した。

5月 : 大型連休を含めて予約は好調に入っていたが、中旬に降雨日が集中した。

6月 : 予約は好調に入り、上旬は順調に取り込むが、中旬以降は梅雨前線の活発化に伴い、入場者数が弱含む。

2. 営業状況

	運営ゴルフ場(134コース)		保有ゴルフ場(43コース)		
	入場者数 (対前年同月比)	入場者数 前月末見込み (対前年同月比)	入場者数 (対前年同月比)	入場者数 前月末見込み (対前年同月比)	営業収益 (対前年同月比)
2016年4月	- 0.1%	+ 2.0%	- 0.6%	+ 2.4%	- 0.3%
5月	- 4.2%	- 1.1%	- 4.7%	+ 0.9%	- 4.6%
6月	- 5.7%	+ 1.5%	- 6.3%	+ 2.7%	- 4.6%
7月	+ 11.9%	+ 7.8%	+ 12.1%	+ 11.7%	+ 8.5%
8月(見込み)	-	+ 3.7% (8月7日時点)	-	+ 6.3% (8月7日時点)	-

営業収益(内訳)

	(百万円)		
	2016年3月期 1Q	2017年3月期 1Q	(前年同期比)
営業収益	13,318	13,039	- 2.1%
ゴルフ場運営	8,034	7,769	- 3.3%
レストラン	2,383	2,383	+ 0.0%
ゴルフ用品販売	1,270	1,185	- 6.7%
その他	1,630	1,700	+ 4.3%
(ゴルフ場運営の内訳)			
コース売上	5,502	5,368	- 2.4%
運営受託収入	1,619	1,590	- 1.8%
会員収益	912	811	- 11.1%
(会員収益の内訳)			
年会費	475	462	- 2.7%
名義変更料	48	51	+ 6.3%
入会金	388	298	- 23.2%
(その他の内訳)			
ゴルフ練習場	1,298	1,333	+ 2.7%
その他	332	367	+ 10.5%

変動要因

<ゴルフ場運営>

対象：運営ゴルフ場

- 前期取得ゴルフ場1コース
(増収要因 売上 94百万円)
- 前期売却ゴルフ場2コース
(減収要因 売上156百万円)
- ゴルフ場入場者数 224万人
(前年同期比3.4%減)
- 客単価9,614円(前年同期比+ 0.1%)

<ゴルフ用品販売>

- サービスの強化を進めるクラブ工房は好調に推移したが、ゴルフクラブやウェアなど主力品の需要が伸び悩む。

<会員収益>

- 一部の新規取得ゴルフ場における会員募集の一巡、「入会金」収益が弱含み。

<ゴルフ練習場>

- 他店と比べ、練習環境や立地条件など施設の優位性から既存施設の収益基盤は安定。サービスを強化したスクール事業の伸びが目立つ。

営業費用(内訳)

	(百万円)		
	2016年3月期 1Q	2017年3月期 1Q	(前年同期比)
営業費用	10,715	10,612	- 1.0%
事業費	9,761	9,557	- 2.1%
人件費	3,364	3,412	+ 1.4%
材料費	1,934	1,873	- 3.2%
その他経費	4,461	4,271	- 4.3%
販売費及び一般管理費	954	1,054	+ 10.5%
人件費	413	432	+ 4.6%
その他経費	540	622	+ 15.2%

アセットライトの効果 (AGT保有90コース)

アセットライト前

人件費	マネージメント(支配人)	当 社 負 担
	スタッフ	
材料費	食材・資材など	
その他経費	Web手数料など	

アセットライト後

マネージメント(支配人)	出向派遣 AGTに請求
スタッフ	AGT 負担
食材・資材など	
Web手数料など	

変動要因

<事業費>

●人件費

変則労働制を進めるなか、就業意欲の向上などバランスの取れたコストコントロールを行う。

●材料費

費用のウエイトが高い、コース管理およびレストランの食材は、ともに原材料価格が安定して推移。

●その他経費

水道光熱費(主にA重油)や車両経費(ガソリン)が減少。自社予約サイトの強化に伴い、Web誘客手数料は前年同期から開始した自社サイト利用に対するポイント還元が一巡し、やや増加に転じる。

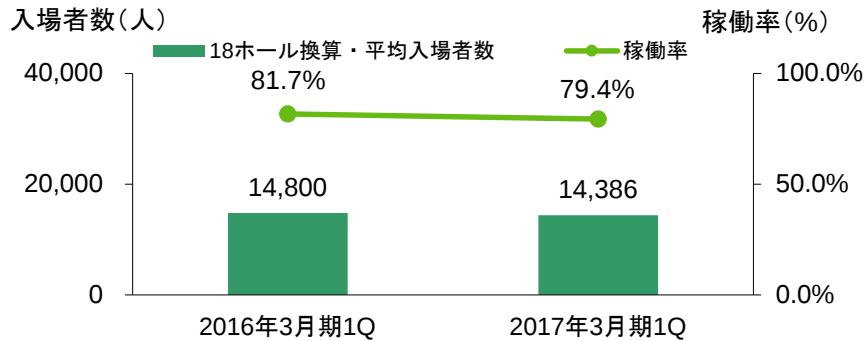
<販売費及び一般管理費>

●その他経費

2016年3月期第2四半期より、ポイント経費の計上方法を変更したことに伴い、広告宣伝費が増加。

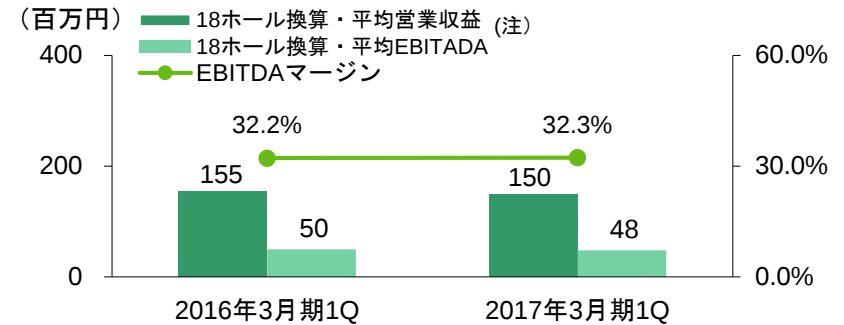
運営ゴルフ場の収益(対象:運営134コース)

入場者数／稼働率



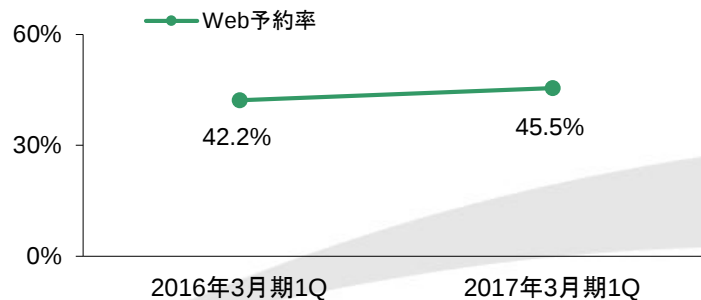
* 稼働率=18ホール当たり入場者／営業日数×200(人)

営業収益／EBITDA

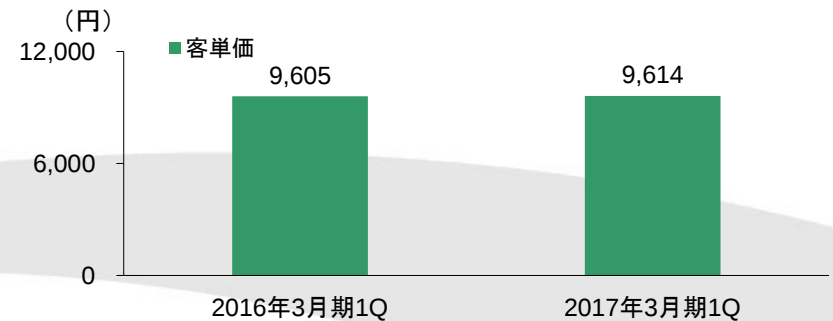


(注)ゴルフ場運営収益+レストラン+ゴルフ用品販売を18ホール換算で算出

Web予約率



客単価

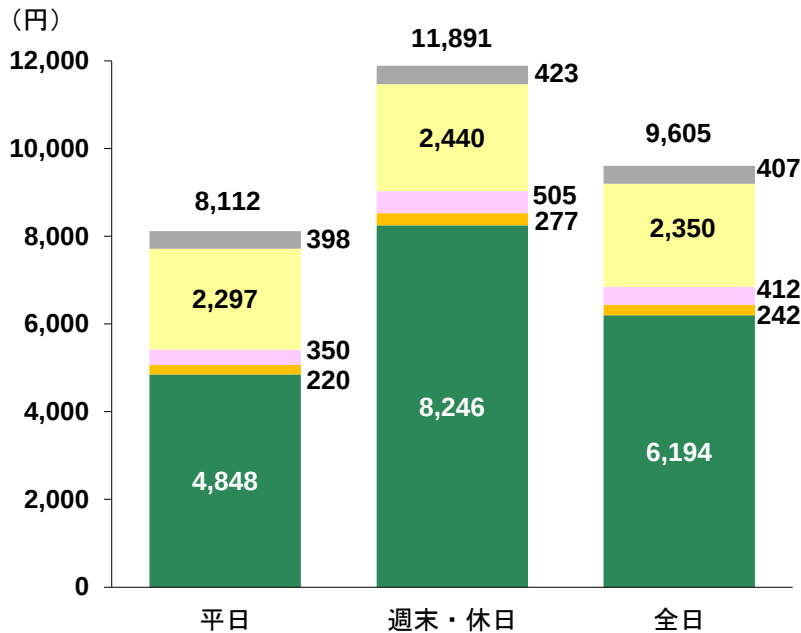


* 客単価=コース売上+レストラン(除くグループ外売上)+ゴルフ用品販売／入場者数

(注) 保有および運営受託契約(含む経営管理委託契約)を締結している134コースを対象(営業休止ゴルフ場を含む)。

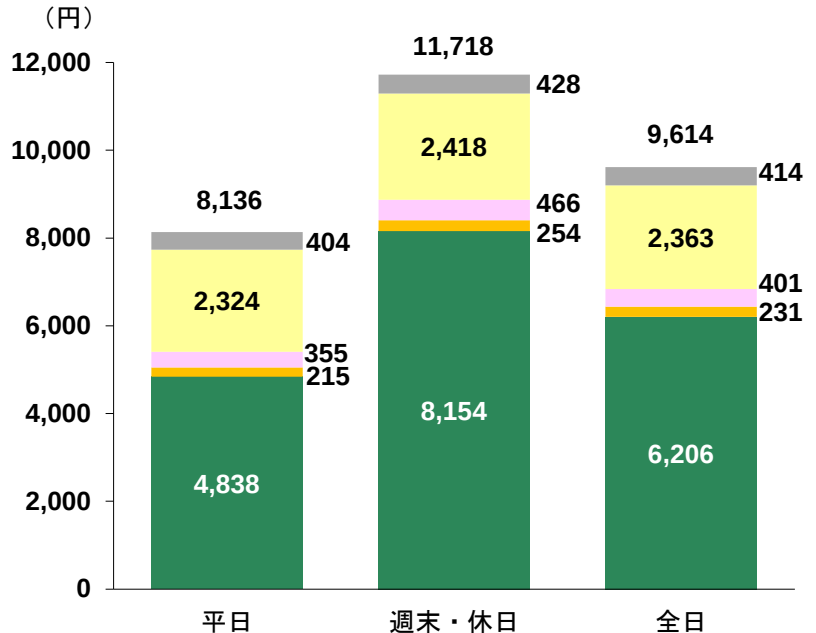
客単価の内訳(対象:運営134コース)

■ プレーフィ ■ キャディフィ ■ プロショップ ■ 飲食 ■ その他



2016年3月期1Q

■ プレーフィ ■ キャディフィ ■ プロショップ ■ 飲食 ■ その他



2017年3月期1Q

- 単価設定と稼働のバランスを図り、プレーフィは前年同期の水準を維持。
- 平日はプレー需要の取り込み余地があるため、早期の予約獲得など稼働を重視するなか、前年同期水準。
週末は高い稼働率を維持、需要に応じた丁寧な単価設定を進めたが、降雨に伴い生じたキャンセル枠に対する対応が影響。
- 第1四半期累計期間は、週末・休日の構成比が対前期比、0.8%減少。
- キャディレス率93.9%(前年同期比0.4ポイント上昇)と前年水準で推移。
- 第1四半期累計期間における、運営ゴルフ場134コースの客単価(全日)は想定、9,653円。

(注) 客単価は、お客様の属性やプレースタイル、スタート時間、繁忙日・閑散日など、状況に応じて多様な料金スタイルから構成されています。
上記数値は、対象ゴルフ場のコース売上・レストラン・ゴルフ用品販売の営業収益合計を入場者数で除して算出しています。

平均顧客単価(対象:運営ゴルフ場)



(円)

2013年3月期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間 平均
顧客単価	9,870	9,683	9,588	9,336	8,873	9,336	9,797	10,252	10,415	9,651	9,221	9,718	9,651
対象コース数	133	132	132	133	133	134	132	132	133	133	133	134	-
2014年3月期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間 平均
顧客単価	9,725	9,735	9,777	9,124	8,921	9,272	9,771	10,473	10,234	9,229	8,765	9,752	9,610
対象コース数	134	134	134	134	134	134	134	133	133	133	133	134	-
2015年3月期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間 平均
顧客単価	9,648	9,772	9,396	9,098	8,793	9,067	9,729	10,657	10,217	9,022	8,586	9,187	9,465
対象コース数	134	134	134	134	134	134	135	135	135	135	135	135	-
2016年3月期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間 平均
顧客単価	9,674	9,859	9,280	9,061	8,737	9,206	9,904	10,571	9,964	9,013	8,447	9,191	9,452
対象コース数	135	135	135	135	135	135	134	135	135	135	135	134	-
2017年3月期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間 平均
顧客単価	9,712	9,782	9,350										-
対象コース数	134	134	134										-

(注)1 平均顧客単価は、保有・運営受託契約を締結したゴルフ場の営業収益から会員収益(入会金、名義書換料、年会費収入)を除く数値を入場者数で除する

2 コース数は、保有・運営受託契約ゴルフ場を対象とし、取得／売却・運営受託契約を締結したコースは、翌月より増減(会社更生中のゴルフ場は除く)

貸借対照表

(百万円)

	2016年3月期	2017年3月期1Q	増減	増減要因
流動資産	10,893	12,205	+1,312	前払い金の増加
固定資産	141,160	139,910	-1,250	
有形固定資産	98,647	98,646	-1	
（うちゴルフコース）	43,914	43,917	+3	
（うち土地）	29,955	29,967	+12	
無形固定資産	11,111	10,717	-394	
（うち）のれん	8,558	8,230	-328	のれん償却
投資その他の資産	31,400	30,546	-854	AGTのユニット28.9%を保有
資産合計	152,054	152,116	+62	
流動負債	58,400	58,050	-350	
（うち）短期借入金	500	2,800	+2,300	短期融資枠の活用
（うち）1年内返済予定 長期借入金	39,623	37,619	-2,004	
固定負債	43,608	44,903	+1,295	
（うち）長期借入金	16,779	18,495	+1,716	
（うち）入会保証金	9,990	9,909	-81	
負債合計	102,008	102,954	+946	
純資産	50,045	49,162	-883	
負債純資産合計	152,054	152,116	+62	

(百万円)

	2016年3月期	2017年3月期1Q	増減	概要
短期借入金	500	2,800	+2,300	一時的な配当支払いに対応
1年内返済予定 長期借入金	39,623	37,619	-2,004	新株予約権付ローン20,000百万円
CP	4,998	4,998	-	キャッシュポジションの調整
長期借入金	16,779	18,495	+1,716	
リース債務	7,991	7,889	-102	練習場設備などをセール&リースバック
有利子負債計	69,891	71,801	+1,910	DEレシオ1.46倍(有利子負債／純資産)
ネット有利子負債	57,703	59,162	+1,459	有利子負債から現預金とリース債務を控除
入会保証金	9,990	9,909	-81	

- 1年内返済予定の長期借入金のうち、2016年8月に期限が到来する150億円はリファイナンス実行予定。
12月に期限が到来する200億円もリファイナンスを準備、その他は約定返済分。
- 新株予約権付ローン(行使価額:1株当たり1,316円 発行数:141,843個 行使期間:2014年8月1日から2016年11月末日)

主な財務制限条項(コベナント)【2014年シンジケートローン】

対象:2019年8月返済期限のシンジケートローン他

- 株主資本比率20%以上
- レバレッジレシオ6.0倍(格付BBB)
- 長期優先債務格付をBBB-以上に維持する

<格付>

長期発行体格付 BBB JCR
見通し(ネガティブ)

コマーシャルペーパー J-2 JCR

短期融資枠計 7,400百万円(2016年6月30日現在)

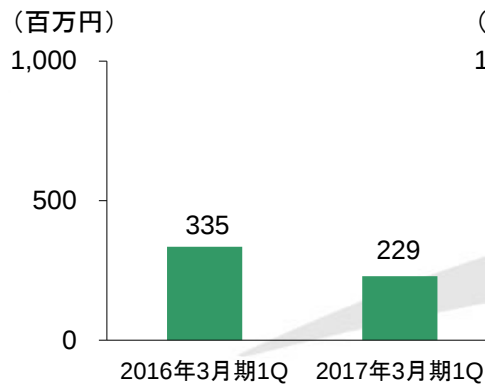
キャッシュ・フロー

	(百万円)		
	2016年3月期 1Q	2017年3月期 1Q	(前年同期比)
営業活動	328	523	+ 59.5%
投資活動	1,490	752	- 49.5%
財務活動	1,572	△ 723	- 146.0%
増減額	3,391	552	- 83.7%
期首残高	3,485	4,197	+ 20.4%
新規連結	-	-	-
期末残高	6,876	4,750	- 30.9%

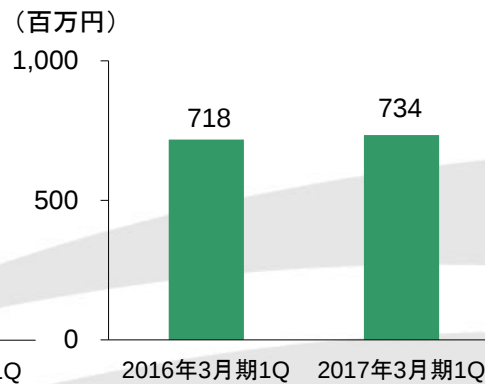
変動要因

- 営業CFは、持分法による投資利益に対する税効果を控除して計上。
- 投資CFは、AGTからの半期分の分配収入1,087百万円を計上。なお、前年同四半期は、AGTが2014年8月設立のため、8ヶ月分の分配を計上する特殊要因。
- 財務CFは、期末配当金の支払いに対して、短期借入金による収入で賄う。年間の営業キャッシュ・フローで弁済。

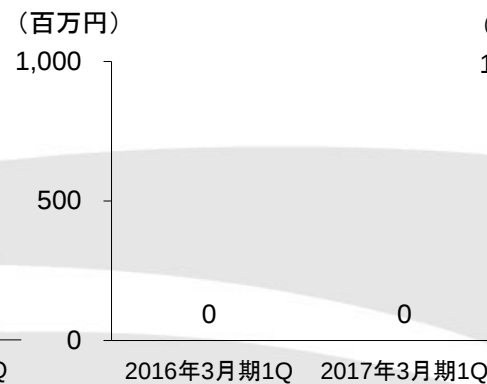
設備投資



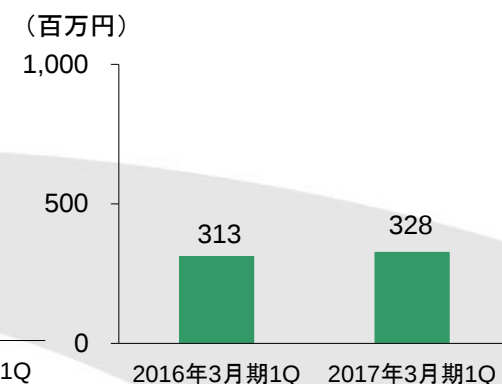
減価償却費



ゴルフ場取得費用



のれん償却費



ゴルフ場の取得、売却

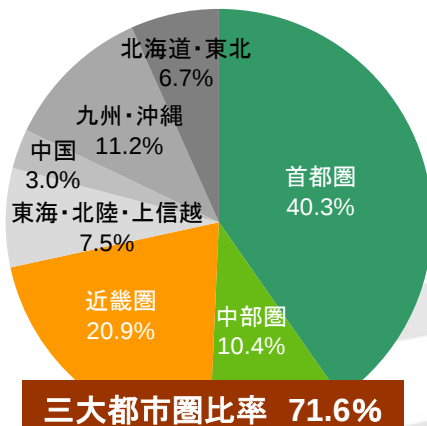
取得・売却

- 2017年3月期第1四半期は、ゴルフ場の保有・運営コース数に変更は無い。
- 収益が安定したゴルフ場のアセットライトを準備、第三者向けに地方に立地する低収益なゴルフ場の売却を準備。

今後の取得方針

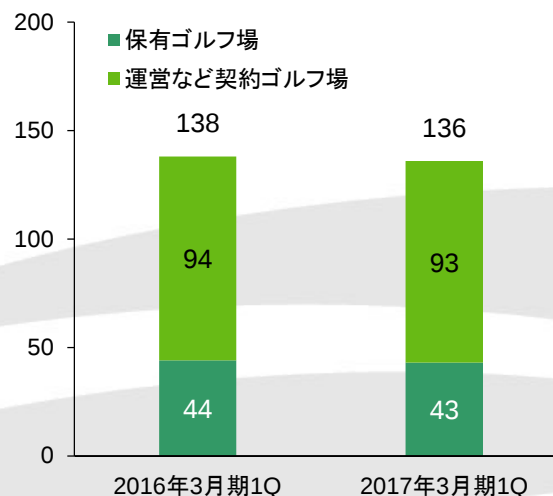
- 当社に持ち込まれる案件数は平年並み、三大都市圏内の案件発掘を進める。
- 持ち込まれる案件を検討したが、当社の投資水準に適合しない案件又は立地条件に合わない案件が散見された。
- 優良物件への投資を進め(年間5コース程度の目標)、海外案件も探索範囲に拡大。

運営ゴルフ場 展開立地



(注) 1 2016年6月末現在 対象:運営134コース
2 中部圏は、愛知県・岐阜県・三重県が対象

ゴルフ場数



● 経営交代、法的整理の状況

2015年1月-12月における
経営交代54コース(前年同期40コース)
法的整理19コース(前年同期14コース)

● 主なゴルフ場運営状況(2016年3月末・コース数)

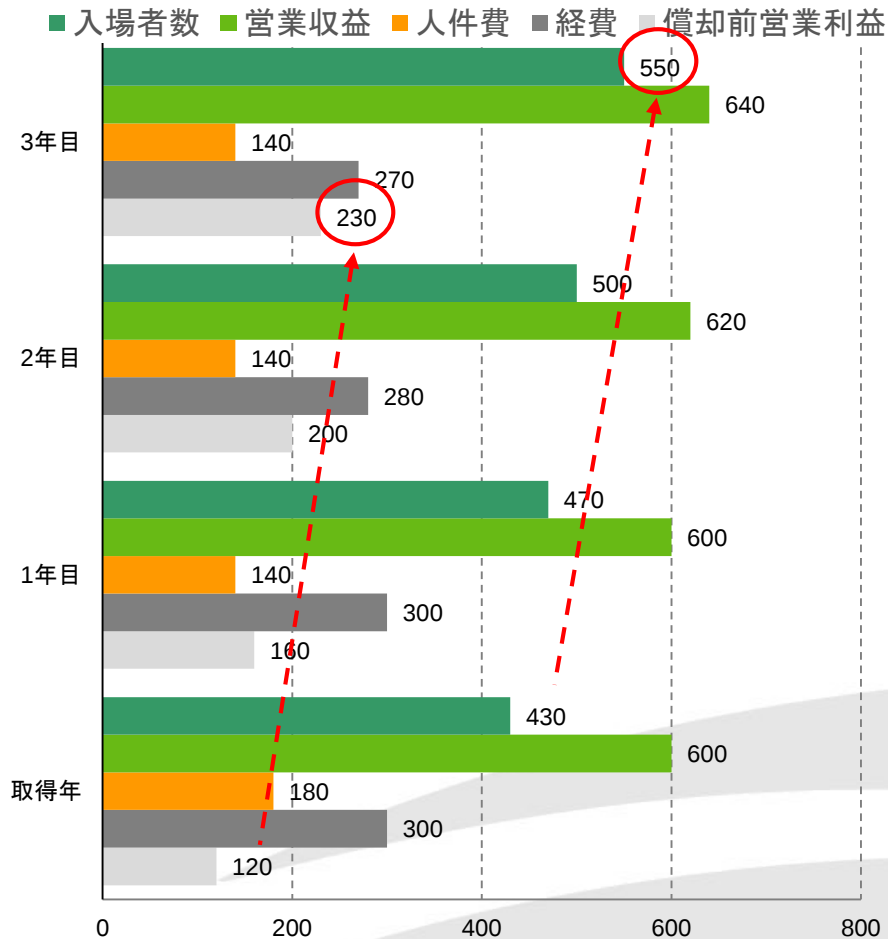
PGM133、オリックス系40、西武系28、市川ゴルフ興業系26、東急系26、チェリーゴルフ系22、OGIグループ22、太平洋クラブ17、ユニマツト17

出所:一季出版「ゴルフ特信」より当社集計

ゴルフ場の収益改善

1.収益改善の一例

(百万円、入場者数:百名)



*取得対象である、ゴルフ場(18ホール)の平均成長イメージ

2.主な収益改善施策

集客

- プレー需要が豊富な三大都市圏に取得を行う
- ポイントカードホルダーのデータを活用し営業施策
- プレー枠やプレイスタイルの拡大
- 「アコーディア・ゴルフ」ブランドの認知による集客効果
- ゴルフ練習場からの送客効果

客単価

- 需要データから算出する販売単価設定
- 入場者数の増加による売上成長

業務効率化

- システム導入や人材共有化による運営効率の向上
- キャディ部門のパート化など人員の適正化

適正コスト化

- 資材の集中購買を行い原価を抑制
- 資産管理、人事、経理など管理業務の本社一元管理

保有ゴルフ場の収益性

(百万円)

保有ゴルフ場		ゴルフ場数 (18ホール換算コース数)		18ホール換算収益 (2016年3月期 実績)		
		三大都市圏	その他	営業収益	EBITDA	EBITDA マージン
組入可能	2010年3月期以前取得	4コース (5.5)	1コース (1.0)	561	247	38.9%
	2011年3月期取得	2コース (2.0)	1コース (1.0)	561	206	33.3%
	2012年3月期取得	3コース (3.0)	1コース (1.0)	518	162	29.0%
	2013年3月期取得	1コース (1.5)	-	563	218	36.8%
	2014年3月期取得	1コース (1.0)	-	564	205	31.0%
組入準備中		12コース (12.5)	1コース (1.0)	680	213	27.4%
権利関係整理中		8コース (11.5)	1コース (1.0)	490	186	33.5%
組入対象外(第三者売却を検討)		-	5コース (6.0)	496	79	15.1%
計		31コース (37.0)	10コース (11.0)	-	-	-

(注) 営業休止1コース、18ホール未満1コースを除く、保有ゴルフ場41コースを対象。

(百万円)

	2016年3月期 1Q	2017年3月期 1Q	(前年同期比)
営業収益	1,487	1,536	+ 3.3%
償却前営業利益(EBITDA)	577	573	- 0.7%
EBITDAマージン	38.8%	37.3%	- 1.5pt
入場者数(万人)	96	100	+ 4.2%
スクール受講者数(万人)	6	6	+ 0.0%
打席回転率	5.5	5.4	-
対象店舗数	25	26	-

- 都市部の既存施設を中心に、前年水準の収益性を維持。
- 都市型インドアゴルフ練習場の他店舗展開を計画。
- スクール事業は個別レッスン形式を新設、多様なニーズに応え在籍者数は増加。

● 取得・開発案件の特徴

・アコーディアゴルフスタジオ赤坂
2016年8月開業／東京都港区／6打席
都市型インドアゴルフ練習場の第1号店

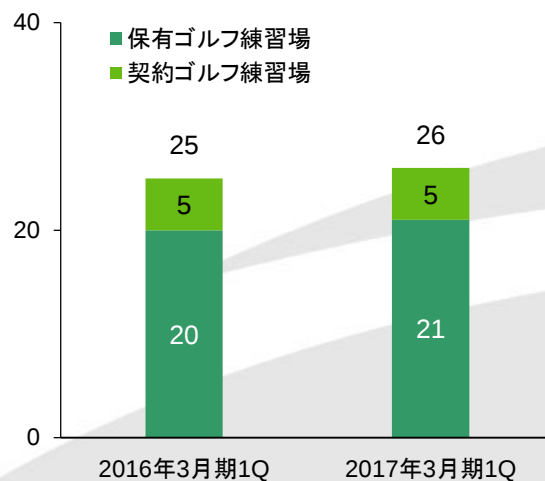
● 提携練習場

・提携ゴルフ練習場623ヶ所
・2015年6月、提携練習場からの送客手法の見直しを実施。提携練習場で実施していた、スタンプラリーカードを活用したポイント付与を終了。

● ゴルフ練習場の経営環境

国内の練習場数3,278ヶ所(2015年)
延べ利用者数8,874万人(2015年)

ゴルフ練習場数



コーポレート・ガバナンス

コーポレート・ガバナンスに関する主な取り組みを下記にまとめています。

コーポレートガバナンス・コード	後継者計画を監督するための仕組み（補充4-1-3） 経営陣のインセンティブ報酬制度（補充4-2） 上記2項目のみ検討中であり、他の各原則は実施しています。
取締役会の構成	取締役会を構成する取締役10名のうち、業務執行取締役5名、十分な独立性を有した社外取締役5名と半数が社外取締役。女性取締役2名とダイバーシティを重視しています。
独立社外取締役の独立性判断基準	定性基準および当社との取引額など具体的な定量基準を設け、公表しています。
指名・報酬委員会	2012年設置の指名委員会は、2015年に指名・報酬委員会を改組しました。委員会を構成する委員5名のうち、3名は社外取締役や外部の有識者を含む社外委員。
議決権電子行使プラットフォーム	2012年より採用しています。
英文での情報提供	招集ご通知など、ほぼ全てのIR資料は英訳版を作成、公表しています。
ディスクロージャーポリシー	情報開示の方法、情報開示体制などを公表しています。

(各数値は2016年5月12日に発表した計画から変更していません)

2. 2017年3月期業績計画

業績計画の前提

運営対象(前期比)

運営ゴルフ場数 93コース(増減なし)

保有ゴルフ場数 43コース(1コース減)

- 保有ゴルフ場の収益
- 運営受託収入
- 取得検討中のゴルフ場取得案件は織り込んでいない。
- ゴルフ場売却(アセットライト)は織り込んでいない。

ゴルフ練習場数 26ヶ所(1ヶ所増)

- アセットライトは織り込んでいない。

四半期毎の強弱感

- 平年の天候要因(営業日数)を基に計画策定。第1四半期および第3四半期は、前期実績並みの稼働率、客単価を計画。
- 第2四半期は、天候不順で落ち込んだ前期実績に対して、稼働率2.0%程度の上昇を計画。
- 第4四半期は、暖冬で強含んだ前期実績に対して、稼働率1.1%程度の下降を計画。
- 運営受託ゴルフ場は、同様の四半期毎の計画であるため、運営受託収入は前期比2%減を計画。

営業外収益/費用

- AGTおよび子会社の純利益を、ユニット持分28.9%分、約1,700百万円を営業外収益として計上。
- リファイナンスに伴う金融費用、約600百万円を営業外費用として計画。

資産・資本

- 追加アセットライトに伴う、ゴルフ場資産や有利子負債(約定弁済分を除く)の減少、資本効率の改善は、期初計画に織り込んでいない。

特別利益/損失

- 大きな変動要因は織り込んでいない。

税率

- 約42%
- 法人税などに、のれん償却費や株主優待関連費用など損金参入項目を勘案し算出。

2017年3月期 業績計画

(百万円)

	2016年3月期	2017年3月期	
		(計画)	(前期比)
営業収益	48,549	48,700	+ 0.3%
償却前営業利益(EBITDA)	11,542	11,600	+ 0.5%
営業利益	7,307	7,300	- 0.1%
経常利益	8,142	7,300	- 10.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	5,459	4,500	- 17.6%
EBITDAマージン	23.8%	23.8%	-
1株当たり当期純利益(円)	77.44	63.83	-
1株当たり配当(円)	36	36	-
ROA (当期純利益/総資産)	3.5	3.0	- 0.5pt
ROE (当期純利益/自己資本)	11.3	8.9	- 2.4pt
運営ゴルフ場入場者数	837万人	830万人	-7万人

(注) 1. 2016年3月末発行済み株式数 84,739,000株より自己株式14,234,433株を控除した、70,504,567株を使用して算出

2. ROAおよびROEは、総資産および自己資本(2016年3月期と2017年3月期計画値の期中平均)で算出

2017年3月期 営業収益(内訳)計画

(百万円)

	2016年3月期	2017年3月期	(前期比)
営業収益	48,549	48,700	+ 0.3%
ゴルフ場運営	28,958	28,900	- 0.2%
レストラン	8,602	8,700	+ 1.1%
ゴルフ用品販売	4,503	4,500	- 0.1%
その他	6,485	6,600	+ 1.8%
(ゴルフ場運営の内訳)			
コース売上	19,460	19,500	+ 0.2%
運営受託収入	6,123	6,200	+ 1.3%
会員収益	3,375	3,200	- 5.2%
(会員収益の内訳)			
年会費	1,898	1,900	+ 0.1%
名義変更料	223	200	- 10.3%
入会金	1,254	1,100	- 12.3%
(その他の内訳)			
ゴルフ練習場	4,963	5,100	+ 2.8%
その他	1,522	1,500	- 1.4%

計画数値の背景

- ゴルフ場運営
 - ・運営ゴルフ場 134コース
入場者数 830万人(-7万人)
稼働率 76.3%(+0.6pt)
客単価 9,566円(+114円)
 - ・保有ゴルフ場 43コース
入場者数 247万人(-1万人)
稼働率 72.6%(-0.8pt)
客単価 11,111円(+151円)
 - ・インバウンド需要の取り込みを模索
- ゴルフ練習場26ヶ所
入場者数 374万人(+6万人)

2017年3月期 営業費用(内訳)計画

(百万円)

	2016年3月期	2017年3月期	(前期比)
営業費用	41,242	41,400	+ 0.4%
事業費	37,235	37,800	+ 1.5%
人件費	13,021	13,400	+ 2.9%
材料費	6,864	6,800	- 0.9%
その他経費	17,350	17,600	- 1.4%
販売費及び一般管理費	4,006	3,600	- 10.1%
人件費	1,670	1,600	- 4.2%
その他経費	2,335	2,000	+ 14.3%

計画数値の背景

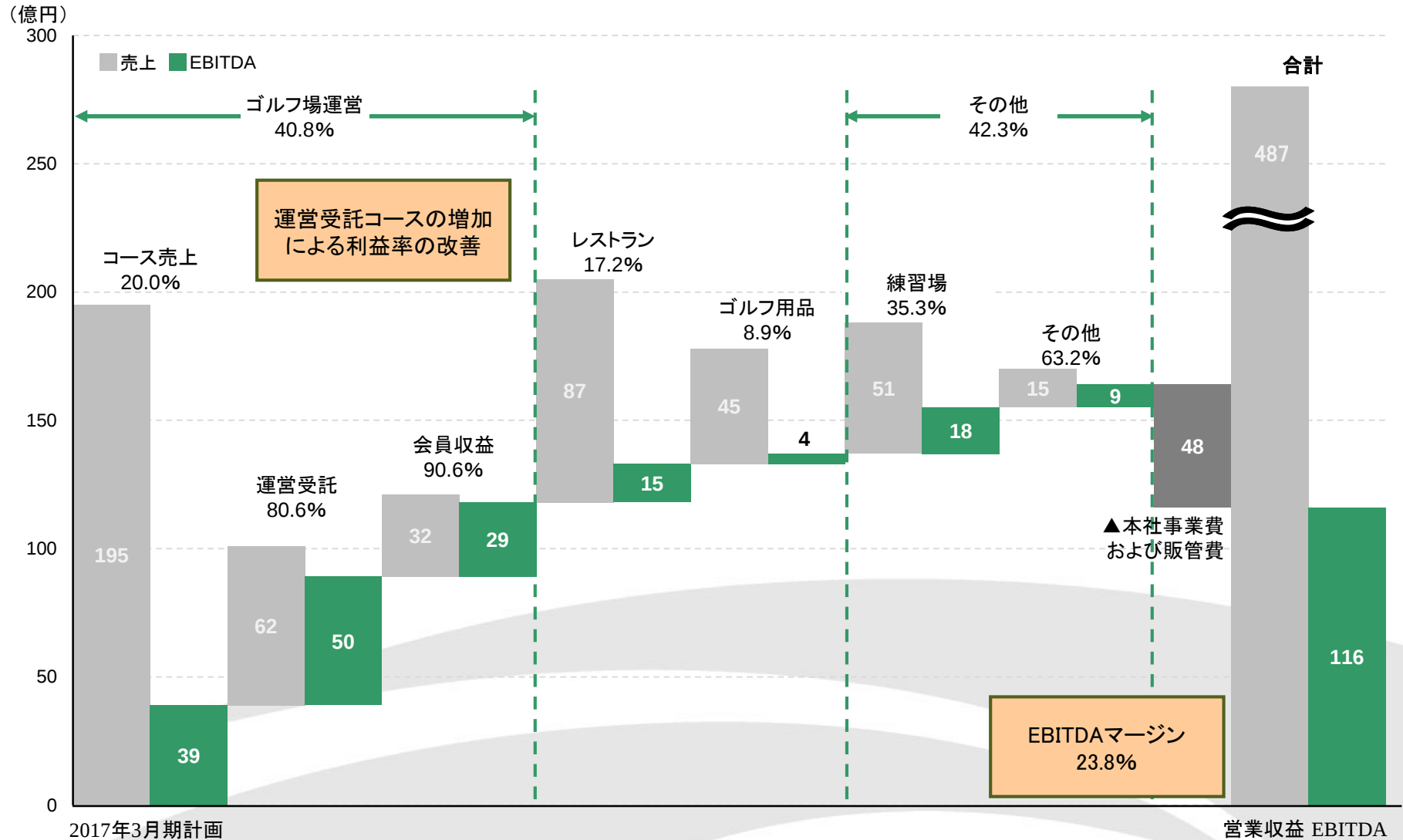
<事業費>

- **人件費**
変則労働制を進めるなか、サービス品質の向上費用の増加を見込む。
- **材料費**
食材価格の価格変動は一巡、前年水準を見込む。
- **その他経費**
Web誘客手数料はやや減少、水道光熱費、車両経費はやや増加を見込む。

<販売費及び一般管理費>

- **人件費**
概ね前年水準を見込む。
- **その他経費**
プロトーナメント開催などブランド価値向上費用の増加を見込むが、その他のプロジェクトは厳選するため、減少を見込む。

営業収益(内訳)計画の想定EBITDAマージン



2017年3月期 四半期計画

(百万円)

	2017年3月期 1Q計画	2017年3月期 1Q実績	(計画比)	2016年3月期 2Q実績	2017年3月期 2Q計画	(前年同期比)
営業収益	13,200	13,039	- 1.2%	11,712	12,000	+ 2.5%
償却前営業利益(EBITDA)	3,500	3,489	- 0.3%	1,905	2,000	+ 5.0%
営業利益	2,400	2,426	+ 1.1%	855	900	+ 5.3%
経常利益	2,600	2,382	- 8.4%	1,010	900	- 10.9%
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,400	1,674	+ 19.6%	866	700	- 19.2%
EBITDAマージン	26.5%	26.8%	+ 0.3pt	16.3%	16.7%	+ 0.4pt
運営ゴルフ場入場者数	231万人	224万人	- 3.0%	213万人	220万人	+ 3.1%
客単価(運営ゴルフ場)	9,653円	9,614円	- 0.4%	8,998円	9,041円	+ 0.5%

	2016年3月期 3Q実績	2017年3月期 3Q計画	(前年同期比)	2016年3月期 4Q実績	2017年3月期 4Q計画	(前年同期比)
営業収益	13,535	13,600	+ 0.5%	9,984	9,900	- 0.8%
償却前営業利益(EBITDA)	4,085	4,200	+ 2.8%	1,916	1,900	- 0.8%
営業利益	3,000	3,100	+ 3.3%	849	900	+ 0.6%
経常利益	3,889	3,200	- 17.7%	442	600	+ 35.7%
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,990	2,100	- 29.8%	-38	300	889.5%
EBITDAマージン	30.2%	30.9%	+ 0.7pt	19.2%	19.2%	-
運営ゴルフ場入場者数	223万人	218万人	- 2.3%	169万人	162万人	- 4.1%
客単価(運営ゴルフ場)	10,159円	10,263円	+ 1.0%	8,865円	9,221円	+ 3.7%

- 1株当たり配当金 2017年3月期 36円(計画)、2016年3月期 36円。
- 事業基盤から創出する安定したキャッシュ・フローを背景としたベース配当の継続

ベース配当

- 「みなし連結当期純利益(税後経常利益)」の配当性向45%

算式

＝連結当期純利益－特別損益＋特別損益に係る法人税等
(経常利益に約40%程度の税負担を控除後利益の45%)

追加アセットライトの実行

- 主にAGTなどに対してゴルフ場を売却しキャッシュを創出した際、余剰キャッシュ・フローの一部を追加株主還元充当。

アセットライト実行時のキャッシュの使途

- ゴルフ場の売却(資産圧縮)に伴い創出したキャッシュは、
 1. 当該ゴルフ場に係る借入金の返済(負債圧縮)
 2. 自己株式の取得(資本圧縮)または配当等を含め、株主還元充当
 3. 投資魅力のある投資案件に充当

ベース配当を含む
総株主還元性向
90%